

実績報告書

事業の実績

2020年6月21日～ ラサントマルシェにて情報収集（毎月第3日曜日開催）常磐幼稚園：熊本市
2020年6月26日 オーガニックファームでの農業体験と意見交換①（田植え、生き物観察）みさと土といのち協同農園：美里町小市野
2020年7月10日 美里フットパス事業（体験と意見交換）遠野コース：美里町遠野
2020年8月1日 紙資源回収マンションモデル体験と「よってこかい」研修（体験と意見交換）：熊本市東子飼町
2020年8月7日 オーガニックファームでの農業体験と意見交換②（生き物観察、稲の生育調査）：美里町小市野

2020年9月2日 みさと緑側カフェ事業への参画①（事前研修への参加と意見交換）：美里町役場
2020年9月6日 美里フットパス事業（フットパスガイド養成講座受講）：美里町役場：
2020年10月3日 美里フットパス事業（フットパスガイド養成講座受講と現地踏査）美里町小市野
2020年10月10日 オーガニックファームでの農業体験と意見交換（稲刈り、生き物観察）美里町小市野
2020年10月28日 オーガニックファームでの農業体験と意見交換（脱穀）美里町小市野
2020年11月22日 みさと緑側カフェ事業への参画②（参与観察）：美里町全域
2020年12月11日 学園大江江キャンパスでの生き物観察と意見交換：学園大学
2020年12月13日 みさと緑側カフェ事業への参画③（参与観察）美里町全域

2020年3月11日 1年の振り返りと意見交換（フォレスト・アドベンチャー体験を含む）：美里町畝野

具体的な成果

《1》2014年の耕作断念地の整備（草刈り、整地、圃場づくり）、協同農園の立ち上げから関わりを継続してきたオーガニックファームうしろだに（「みさと土といのち協働農園：内田敬介代表）における農業体験（田植え、生育調査、稲刈り、脱穀、試食）、圃場とビオトープの生き物観察（定置観測装置の設置を含む）を、協同農園、地元自治会、「水と緑WG(両生類、昆虫、植物の専門家集団)」の協力・指導のもと行い、コロナ禍による様々な制約を受けつつも、有意義な体験と同時に継続的な「生き物観察」によって、美里町小市野地区における里山（SATOYAMA）の多様な生態系についての学びを実地で学ぶことが出来た。

《2》地域力の醸成と都市農村交流の深化をめざし、全国の他地域に先駆けてスタートした、美里町におけるフットパス事業の次の展開を模索する試みとしての「緑側カフェ」の立ち上げにあたって、企画、事前研修、試行に参加することで、地元住民（自宅の庭先を活用した緑側カフェのオーナー）、フットパス研究所、地域おこし協力隊、自治体担当者などのステークホルダーの役割、関係性を学ぶことが出来た。また、11月と12月の試行期間においては、カフェ開催当日の、訪問者受付準備、運営体制、訪問者との「交歓」について、参与観察の機会を得ることが出来た。

《3》また、新たにスタートしたフットパスガイド養成講座（初級、中級、現場研修）に参加する機会を通して、卒業後も美里町の様々な事業に継続的に参加・参画するための足がかりを作ることが出来た。

《4》新型コロナ禍や2020豪雨災害に翻弄され、様々な制約を受ける中での1年間の事業であったが、美里町のパートナーと継続的に連絡を取り合い、COVID-19の感染拡大リスクを極力ゼロに近づけるための方策を探る過程で、“One World, One Health”の理念に沿った生き方や暮らしと地域社会の有り様について、共に学び、共に考え、共に行動することが出来た。WithコロナからBeyondコロナの時代への転換期において、クマガク生として、どのようにして地域連携とサービスマーケティングの取り組みを深めていくかについては、来年度に向けた課題としたい。